

2026年06月24日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

## 【自動車部品】他社牽制力ランキング 2025 トップ3はデンソー、アイシン、住友電装

弊社はこのほど「自動車部品業界」の特許を対象に、2025年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別 ※に集計した「自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2025」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

結果、2025年に最も引用された企業は、1位 **デンソー**、2位 **アイシン**、3位 **住友電装**となりました。

### 【自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2025 上位10社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	デンソー	3,743
2位	アイシン	1,095
3位	住友電装	897
4位	ASTEMO	834
5位	矢崎総業	670
6位	ジェイテクト	483
7位	トヨタ紡織	315
8位	豊田合成	307
9位	SOKEN	289
10位	ROBERT BOSCH (DE)	258

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

#### 【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2025年12月までに公開された全特許のうち、2025年1月～12月末の期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を対象に、抽出・集計をしています。また本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2026年5月時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。なお各企業の業種につきましては、総務省の日本標準産業分類等を参考に分類しています。

1位 **デンソー**の最も引用された特許は「旅行に一緒に行ったメンバー間で思い出情報を共有することができる車両用思い出共有システム」に関する技術で、ソフトバンクグループなどの計12件の審査過程で引用されています。このほか「データの保存量を抑制しつつ、事故原因の解析性を高める車両用記録装置」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、トヨタ自動車などの計5件の拒絶理由として引用されています。2025年にデンソーの特許による影響を受けた企業としては、トヨタ自動車、本田技研工業、三菱電機などが挙げられます。

2位 **アイシン**の最も引用された特許は「簡素な構成で利用者の生体情報の秘匿性を十分に確保できる便座システム」に関する技術で、LIXILなどの計4件の審査過程で引用されています。このほか「移動体の内部の生体の存在とともに、生体の位置を高い精度で検知可能な生体検知システム」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、三菱電機などの計4件の拒絶理由として引用されています。

2025年にアイシンの特許による影響を受けた企業としては、トヨタ自動車、本田技研工業、パイオニアです。

3位 **住友電装**の最も引用された特許は「端子で異常発熱が発生した際の応答性が向上した端子」に関する技術で、SUNGROW POWER SUPPLY (CN) などの計5件の審査過程において拒絶理由として引用されています。2025年に住友電装の特許による影響を受けた企業としては、矢崎総業、古河電気工業、古河A Sとなっています。

4位 **ASTEMO**は「車両の状態に応じてニューラルネットワークの中間層を選択し、演算時間を抑える車両電子制御装置」、5位 **矢崎総業**は「車載パネルの美観を保つ装置」が、最も引用された特許として挙げられます。

\* \* \*

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

#### 【自動車部品業界 他社牽制力ランキング 2025 データ】

▶納品形態：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データ一式を収録したCD-Rでの御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ランキング トップ50社：本業界の被引用件数上位50社のランキング
- ・被引用件数 トップ100件：本業界の被引用件数上位100特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000円（税抜）

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL：<https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail：[info@patentresult.co.jp](mailto:info@patentresult.co.jp)